

製品名: CD45 (15N7) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08402**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50
分子量	147kDa

抗原情報

遺伝子名	PTPRC
別名	CD45; B220; GP180; LCA; PTPRC; T200 leukocyte common antigen;
遺伝子 ID	5788.0
SwissProt ID	P08575
免疫原	ヒト CD45 の合成ペプチド

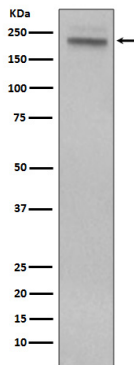
背景

抗原受容体を介した T 細胞の活性化に必要なタンパク質チロシン-タンパク質ホスファターゼ。DPP4 に結合すると、T 細胞の共活性化の正の調節因子として機能します。最初の PTPase ドメインは酵素活性を持ち、2 番目のドメインは最初のドメインの基質特異性に影響を与えるようです。T 細胞が活性化されると、SKAP1 と FYN をリクルートして脱リン酸化します。LYN を脱リン酸化することで、LYN の活性を調整します（類似性による）。抗原受容体を介した T 細胞の活性化に必要なタンパク質チロシン-タンパク質ホスファターゼ。DPP4 に結合すると、T 細胞の共活性化の正の調節因子として機能します。最初の PTPase ドメインは酵素活性を持ち、2 番目のドメインは最初のドメインの基質特異性に影響を与えるようです。T 細胞が活性化されると、SKAP1 と FYN をリクルートして脱リン酸化します。LYN を脱リン酸化することで、LYN の活性を調整します（類似性による）。

研究分野

-

画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の CD45 発現のウェスタン プロット分析。